

岐阜県CKD対策に係る会議体について

1 岐阜県慢性腎臓病対策推進協議会

【目的】自覚症状に乏しい慢性腎臓病(CKD)を早期に発見・診断し、良質で適切な治療を早期から実施・継続することにより、CKD重症化予防を徹底するとともに、CKD患者(透析患者及び腎移植患者を含む)のQOLの維持向上を図る。

【構成員】○腎臓専門医 ○糖尿病専門医 ○県医師会代表理事
○薬剤師会代表理事 ○透析看護専門看護師
○医療保険者代表 ○市町村保健師・管理栄養士代表
○保健所代表

【内容】普及啓発、人材育成、医療連携の取組の推進に向けた総合的な協議

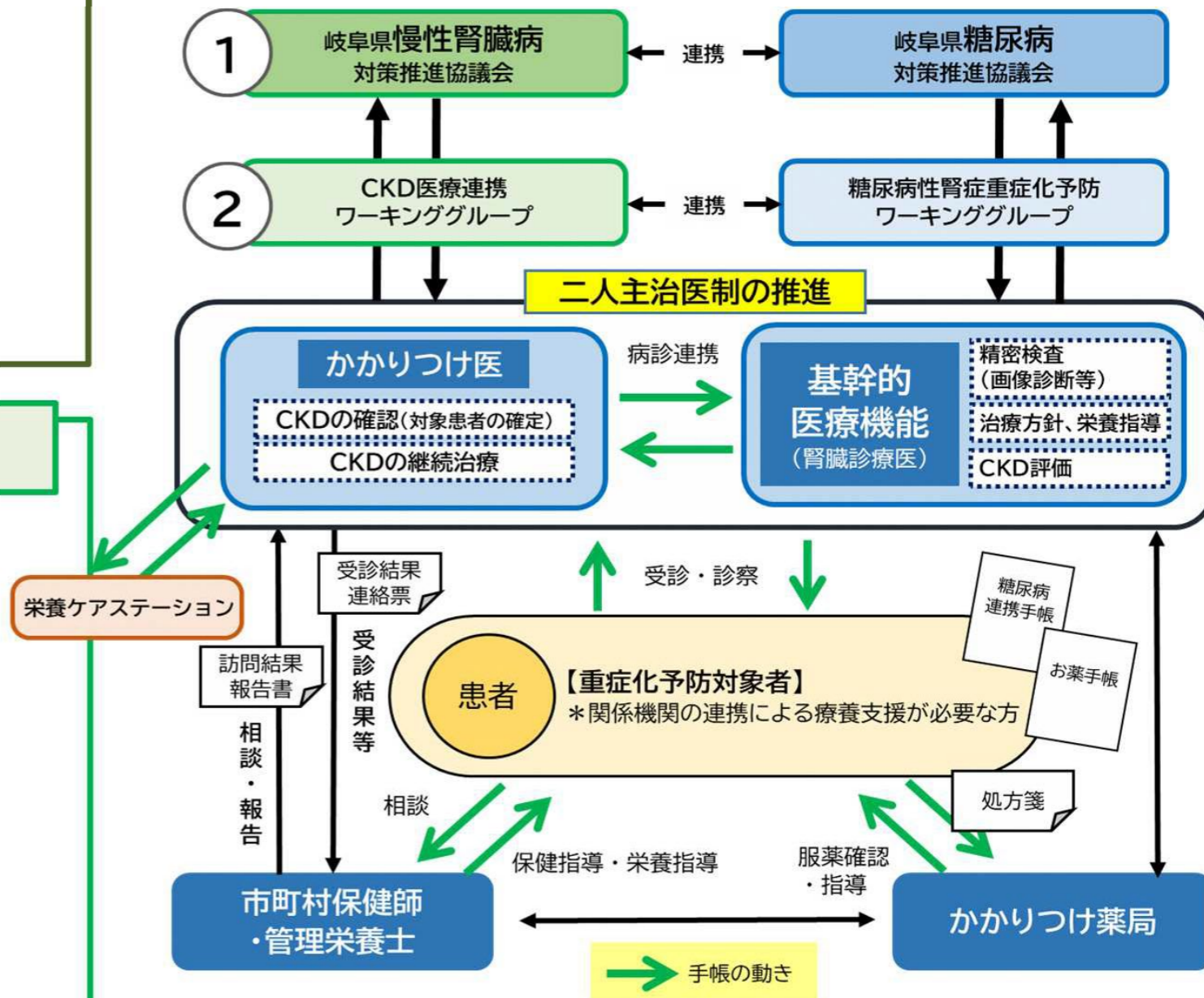
2 岐阜県CKD医療連携ワーキンググループ

【目的】健診で発見されたCKD患者に早期に介入し、治療につなげるとともに、継続した医療を提供できる体制を維持できるようにするため、医療関係者による岐阜県CKD医療連携ワーキンググループを設置し、岐阜県の実情に応じたCKDに係る医療連携体制を構築する。

【構成員】○腎臓専門医 ○糖尿病専門医 ○小児科学会専門医
○圏域代表医師 ○県医師会 ○県

【内容】年2回開催、全体説明会1回開催
かかりつけ医と腎専門医の連携の在り方の検討
・連携マニュアルの作成及び配布
・連携マニュアルの活用促進のための説明会の開催

【CKD対策の全体像】



岐阜県におけるCKD対策に係る取組

普及啓発

- 県公式Twitter及びInstagramでの情報発信
- 世界腎臓病デーに合わせ、**オンラインで県民公開講座を開催(オンデマンド配信)**
- 腎臓病の原因である『高血圧』の予防を普及するための啓発媒体の作成
(保健所及び市町村を通じた県民への啓発、健康経営宣言企業への配布)

人材育成

- 医師・コメディカルを対象とした研修会の開催(オンライン開催)**
講師:CKD進展の抑制とCVD発症予防を目指して
公立刈田総合病院・特別管理者 伊藤 貞嘉先生
- *糖尿病専門医の声掛けによる糖尿病と腎臓病の架け橋プロジェクト(第2回)
- *糖尿病対策推進協議会主催の講演会でCKD対策との連携を周知

病診連携

- CKD医療連携ワーキンググループでの、かかりつけ医と腎臓診療医との**連携ツールの作成・公表**
→CKD医療連携に係るマニュアルを作成し、病院、診療所、薬剤師、行政へ配布
- 岐阜県CKD地域連携説明会の開催**
(対象)県内の腎臓診療医、かかりつけ医、薬剤師会、行政
(内容)マニュアル・連携ツールを、かかりつけ医、腎臓専門医等に、現場で使用して頂き、CKD患者の診療等に役立ていただくために説明会を開催

健診の活用

- 特定健診を軸とした連携基準の明確化
- 糖尿病性腎症重症化予防プログラムとの連動についての協議

